

文部科学省委託事業 教員養成機関等との連携による専門人材育成・確保事業

## 小学校外国語のための免許法認定講習等実施事業

### 免許法認定公開講座・免許法認定通信教育 中二種免(英語)



最新情報はHPで「香川大学免許法認定公開講座」で検索

小学校の外国語活動の指導において中心的な役割を果たしている現職教員の英語力および英語指導力を高め、専科指導を可能とする中学校教諭二種免許状(外国語(英語))を取得させ、教科としての外国語に対応できる人材を育成するため免許法認定公開講座・免許法認定通信教育 中二種免(英語)を※開設します。

※(令和5年度、令和6年度の2年度で免許取得が可能となる講座開設を計画しています。)

小学校教員のほか、多様な専門性を持った外部人材の外国語(英語)教育への活用を促進するという観点から、外国語指導助手や英語が堪能な地域人材等も、受講生として受け入れます。(教員免許をお持ちでない方が受講した場合、受講証明を発行しますが、教育職員検定での単位とはなりません。)

#### 開設方法について

対面による講座(免許法認定公開講座)とオンラインによる講座(免許法認定通信教育)を実施します。オンラインによる講座は、同時双方向通信(Zoomを使用)で実施します。(裏面参照)

#### 受講資格(次のいずれかの条件に該当する方)

- ・ 小学校教諭普通免許を有する教員で、小学校で英語教育に関わる見込みのある方。
- ・ 外国語指導助手や英語が堪能な地域人材等で、小学校で英語教育に関わる見込みのある方。

(申し込みにあたり、教育委員会・学校長等の推薦者の証明が必要です。)

#### 受講料

徴収しません。テキスト代及び教材費等は受講者の負担とする場合があります。

#### 受付期間・申込方法

詳細は、ホームページを参照してください。【「香川大学免許法認定公開講座」で検索】  
8月開設の講習受講を希望の方は、**8月2日(金)**までに申込書を提出ください。

#### その他

受講希望が多数の場合は、受講者を書類選考する場合があります。

#### 開設講座

	開設日	開設講習名	免許の種類	免許法施行規則に定める科目区分等		授与単位	定員	単位数	開設方法		免許法別表第8 対応科目	
				科目	各科目に含める 必要事項				対面	オンライン		
1	8月11日 8月12日	生徒指導・進路指導論	中二種免	教職	生徒指導の理論及び方法、進路指導及びキャリア教育の理論及び方法	1	40	1	○		○	
2	9月14日 9月15日 9月21日 9月22日	英語科教育法概説	中二種免(英語)		各教科の指導法(情報機器及び教科の活用を含む。)	2	40	2	○		○	
3	9月14日 9月15日	※英文法概論			教科	英語学	1	40	1	○		○
4	9月7日 9月8日	※英語圏文学史概論				英語文学	1	40	1	○	○	○
5	12月7日 12月8日	英会話基礎				英語コミュニケーション	1	40	1	○	○	○
6	1月11日 1月12日	※異文化理解				異文化理解	1	40	1	○	○	○

※ 教員免許法施行規則 第4条備考 二の教科に関する専門的事項の一般的包括的な内容を含む科目。

※ 「英語科教育法概説」と「英文法概論」は日程が重複するためどちらか1つしか受講できません。

## 開設講座の概要

<b>生徒指導・進路指導論</b> 講師: 柗澤 利也 (8月11日、8月12日)	中学校における生徒指導、進路指導・キャリア教育の理論と方法について、生徒の社会的な自己実現に関わる様々な「問題」やトピックスを取り上げながら臨床教育的に考察します。この講義を通して、さまざまな生徒指導上の問題の背景、相手と状況に応じた教育的援助のあり方について学ぶことができます。【対面講座】
<b>英語科教育法概説</b> 講師: 中住 幸治 (9月14日、9月15日 9月21日、9月22日)	小中高連携による英語科教育を視野に入れ、生徒の言語能力の発達を踏まえつつ、英語の5領域を個別又は統合的に指導する上で不可欠となる教授法、教材論、指導技術、評価論等を踏まえて、講義を中心としながら一部演習活動を取り入れて、英語教育の諸側面を論じます。演習活動には、受講生を児童・生徒に見立ててのマイクロ・ティーチング型活動、及び外国語活動の指導実践を通して得た問題意識の共有を前提とするグループ討議を含みます。【対面講座】
<b>英文法概論</b> 講師: 永尾 智 (9月14日、9月15日)	<小学校>コア・カリキュラムの「外国語に関する専門的事項<2>英語に関する背景的な知識」のうち「英語に関する基本的な事柄」の一部、<中学校>コア・カリキュラムの「英語科に関する専門的事項<1>英語学」のうち「英語の文法」について検討します。具体的には、英語という言語の成り立ちを考えるという視点で英文法を振り返り、その理解を深めていただきます。本年度は、動詞、名詞、ほかを扱う予定です。いずれについても、「かたがちは違えば意味も違う」「かたちは同じだが意味が違う」という側面を英語の事象把握観として捉えながら、ことばと意味の相互関係の諸相を考えます。【対面講座】
<b>英語圏文学史概論</b> 講師: 杉田 貴瑞 (9月7日、9月8日)	本授業では、イギリス文学とアメリカ文学を中心とした英語圏の主要作家を取り上げ、作品に現れる時代性・社会性・個性を概観します。文学作品に現れている国民および作家個人の特徴を理解すると共に、原文とそれを書き直したグレイデッド・リーダーとを較べながら、英語の基本語のイメージや英語特有の表現を知ることも目標の一部とします。【対面・オンライン講座】
<b>英会話基礎</b> 講師: バテン・ポール (12月7日、12月8日)	会話を始め、維持し、終える際に必要とするスキルや方策についてまず考えていきます。若い学習者の場合、英語ではどうしたらいいのか？英語を上手く話し、自信を得ていくための過程は何か？そのプロセスを、教師はどう支援してゆけばいいのか？また、コミュニケーションの方策をどう用いたらいいのかなどの、実践的な例にも焦点をあてます。さらに英語を教える際大切となる、教室英語についても言及します。【対面・オンライン講座】 ※「英語コミュニケーション」の「一般的包括的内容」を満たすためには令和5年度に開講された「英作文基礎」と令和6年度に開講する「英会話基礎」の両方の修得が必要です。
<b>異文化理解</b> 講師: 水野 康一 (1月11日、1月12日)	異文化との接触には、誤解やコンフリクトが避けられません。現代の英語教育では、異文化理解といった知識のみならず、実際に起こりうる異文化コミュニケーション上の問題に遭遇した際の対処法も教える必要があります。異文化コミュニケーションにおける摩擦や誤解の原因について理論的に理解し、異文化に対する適切な態度や実践的コミュニケーション能力を身につけるにはどうしたらよいかを考えます。【対面・オンライン講座】

## オンライン講座について (Zoomを利用した同時双方向通信の講座です。)

### 準備する機器・環境について

- インターネット環境のある部屋で受講してください。
- Zoomをインストールしたパソコンをご準備ください。(タブレットやスマートフォンですと、機能が制限される場合があります。)
- Webカメラとマイクをご準備ください。講座によっては、オンライン上でグループワークを行うことがあります。ハウリングが生じる可能性がある場合は、イヤホンやヘッドセットをご準備ください。
- Zoomは、最新版を使用してください。

### オンライン講義ご受講にあたっては以下を遵守してください。

- Zoomに表示される名前は、受講者本人の氏名に設定し受講してください。また、他の受講者の氏名等の情報は他者に漏らさないでください。
- 講習の一部または全体を録音、録画、撮影、画面のキャプチャ(スクリーンショット)などしないでください。
- 受講者の方が、原則として単独で視聴してください。(子どもや要介護者など同席せざるを得ない場合は、事前にご相談ください。)
- 講習の中で取り扱った事例については、ブログやSNS等による発信や、他者への口外はしないでください。
- 講師の指示以外で、講義中に他の受講者に個別にチャットなどで連絡しないでください。
- 視聴URLやパスワードは、第三者に漏らさないでください。
- 講座配付教材等は、受講目的以外で利用はしないでください。

### その他

- 受講状況については、講師や授業補助者が受講者のカメラ等で随時確認します。カメラやマイクのオン・オフは講師や講座補助者の指示に従ってください。
- 不明なことがありましたら、教務課にご相談ください。( [chunieigo-c@kagawa-u.ac.jp](mailto:chunieigo-c@kagawa-u.ac.jp) )